2021年度自治体SDGsモデル事業提案概要(提案様式3)

自治体SDGsモデル事業名: 化学×里山×ひと

~SDGsでつなぎ、みんなで未来へ~

提案者名:千葉県市原市

取組内容の概要:国内有数の石油化学コンビナートを擁する都市として、2050年カーボンニュートラルと持続的発展の両立に向け、市原発 サーキュラーエコノミーを実現する。併せて、里山環境を活かしたまちづくり、子ども・若者が希望を実現できる社会構築へ の取組等、多様なステークホルダーとの対話と連携を通じ、誇れる未来を創造する。

【市原市SDGs戦略】 総合計画と連動し、市全体の取組を先導するリーディングプロジェクトを設定した計画(2021~2030)

市原市 SDGs戦略 I $(2021 \sim 2023)$ ・プロジェクト1(PJ1): 臨海部コンビナートとともに挑む、市原発サーキュラーエコノミーの創造

・プロジェクト2(PJ2): 自然との共生 里山・アートを活かした持続可能なまちづくり ・プロジェクト3(PJ3):全ての子ども・若者に夢と希望を 子ども・若者の貧困対策

経済







(経済→社会)の相乗効果

地域産業が活性化し就業機会を創出



若者への訴求力を高め、

地域産業に優秀な人材を呼び込む

市原発サーキュラーエコノミーの創造

2050年カーボンニュートラルの実現と

持続的発展の両立

~ 企業・市民・行政が一体となったポリスチレン樹脂の

ケミカルリサイクル実証事業 ~



課題 石油化学コンビナートのサステナビリティ

(経済面でのチャレンジ)

- 臨海部企業の持続的な発展
 - (国際競争の激化、内需の減少、設備の 老朽化、カーボンニュートラルへの対応等)
- 優秀な人材の確保・育成

課題解決の取組

PJ1 市原発サーキュラーエコノミーの創造

PJ1 新産業導入の促進

循環型経済の構築による

- PJ1 超小型電気自動車(EV) の実証
- PJ2 市原DMOと連携した観光振興

















課題 「ひとのカ」のサステナビリティ

(社会面でのチャレンジ)

- 人口減少(若者・女性の転出超過)
- 子育で教育環境の充実
- 子ども・若者の貧困対策

課題解決の取組

PJ1 市原発サーキュラーエコノミーの創造

- PJ3 安心して子育てできる環境の整備
- PJ3 きめ細かな子育て支援
- PJ3 子ども・若者の貧困対策の推進
- PJ2 コミュニティアートを通じたまちづくり(再掲)









課題 里山環境のサステナビリティ(環境面でのチャレンジ)

- 荒廃する里山、激甚化する自然災害への対応
- 2050年カーボンニュートラルへの貢献
- コミュニティの希薄化 新たな日常、働き方への対応

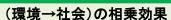
課題解決の取組

- PJ1 市原発サーキュラーエコノミーの創造
- PJ2 里山暮らし、里山ワークの推進
- PJ2 市原市地域おこし協力隊
- PJ2 コミュニティアートを通じたまちづくり
- PJ2 いちはらポイント制度のICT化 PJ1 再生可能エネルギーの積極的な利用等

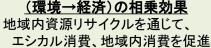




多様なステークホルダーと連携し、 ごみの減量化や温室効果ガスを削減



環境意識の向上により、環境配慮行動 を促進し、地域の課題解決や愛着・誇り の創出



(経済→環境)の相乗効果

カーボンニュートラルへの貢献